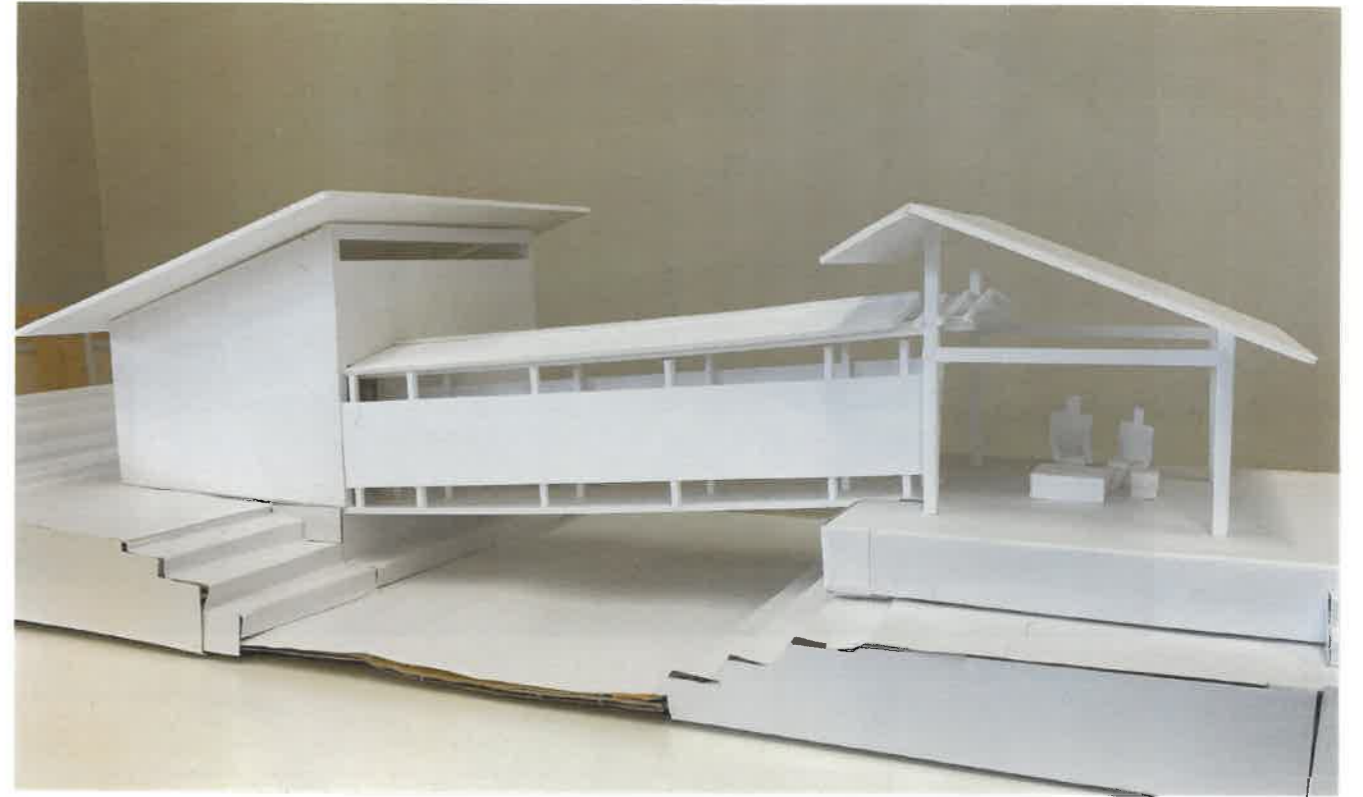


# ART × 自然 × ヒト

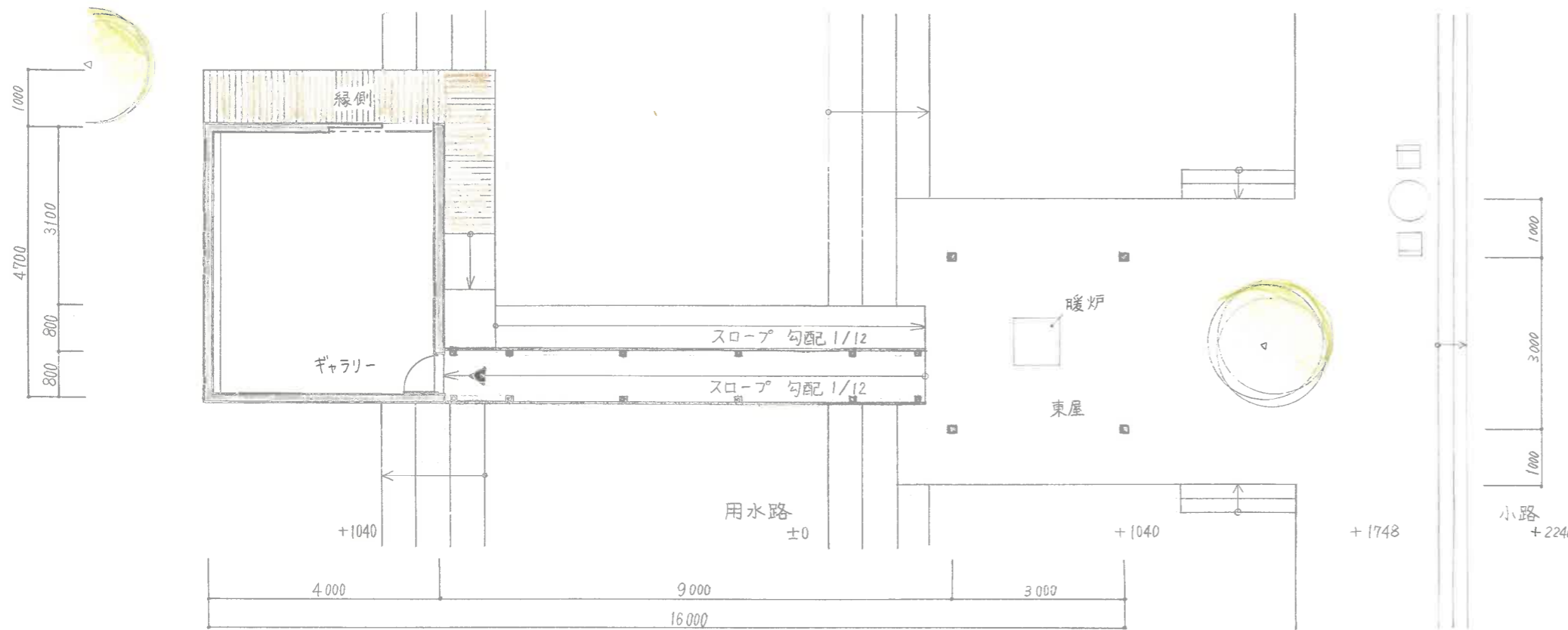
タイトルにある3要素がより身近に感じられるように設計した。特にその中でも「ART」の分野に力を入れていて、千住博の芸術を引き立てるものが建築だと考える。その芸術とは、「自分が取り巻く世界を生き生きと描き、そして感じたことを共有すること」だ。その後者を実現させるため、ラウンドスケープにも手がけて腰をかけられる場所を多くしたり、寒い時でも自然と人が輪を囲む暖炉を設置したりして工夫した。

水の上の移行空間では、薄暗い中で感じる季節や時間ごとの変化や、足元と頭上から見える空や水面の美しさを楽しむ。また、この部分をスロープにすることで地面に水が打ちつけている作品へと下る度に高揚感を感じられる。ギャラリーからの帰路は往路と対照的に開放された廊下で思い切り自然を感じられる。特に作品との共通点である水に注目し、より一層自然の生命力に魅了されるに違いない。

引用文献：「芸術とは何か — 千住博が答える147の質問」 / 著者：千住博 / 出版社：祥伝社新書 / 発行日：2014年 / 所在ページ：P249



外観 模型写真 (東)

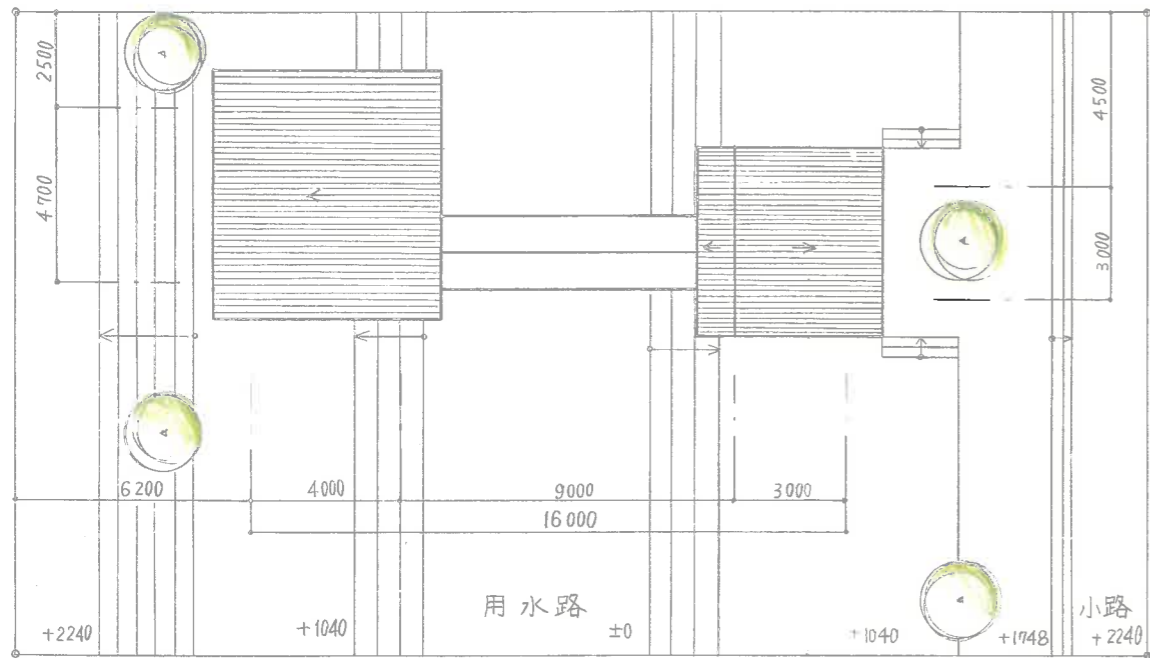


1階平面図 S=1/100

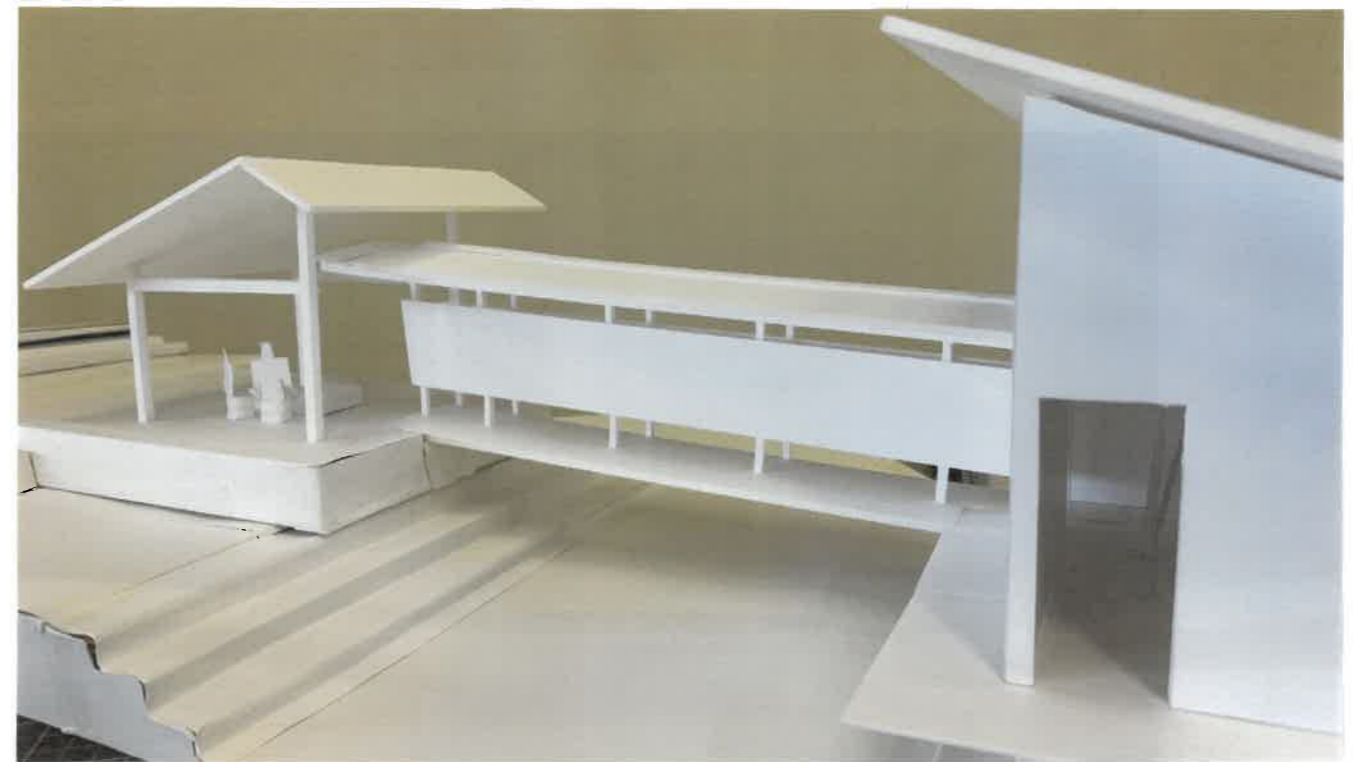


作品：「The Fall 1995, The 46th Venice Biennale, Italy, previous page」  
「ザ・フォールズ」1994  
サイズ：162.0 × 454.0 cm  
絵画技法：紙本彩色 (和紙をベースに岩絵の具で彩色)

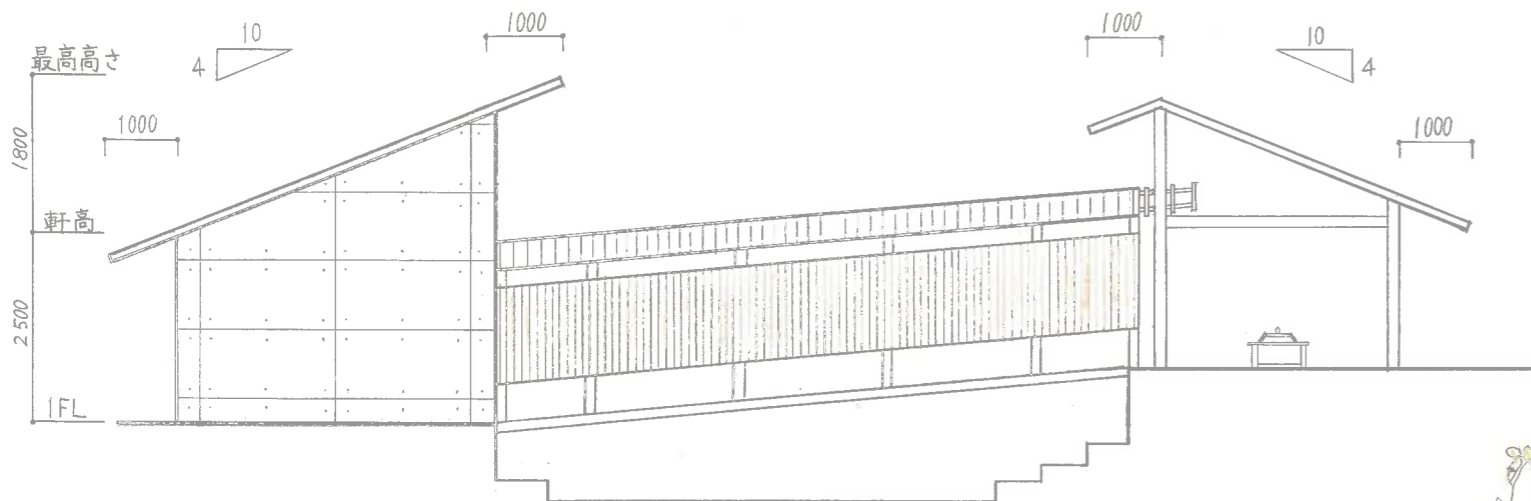
E723003 石井 莉英



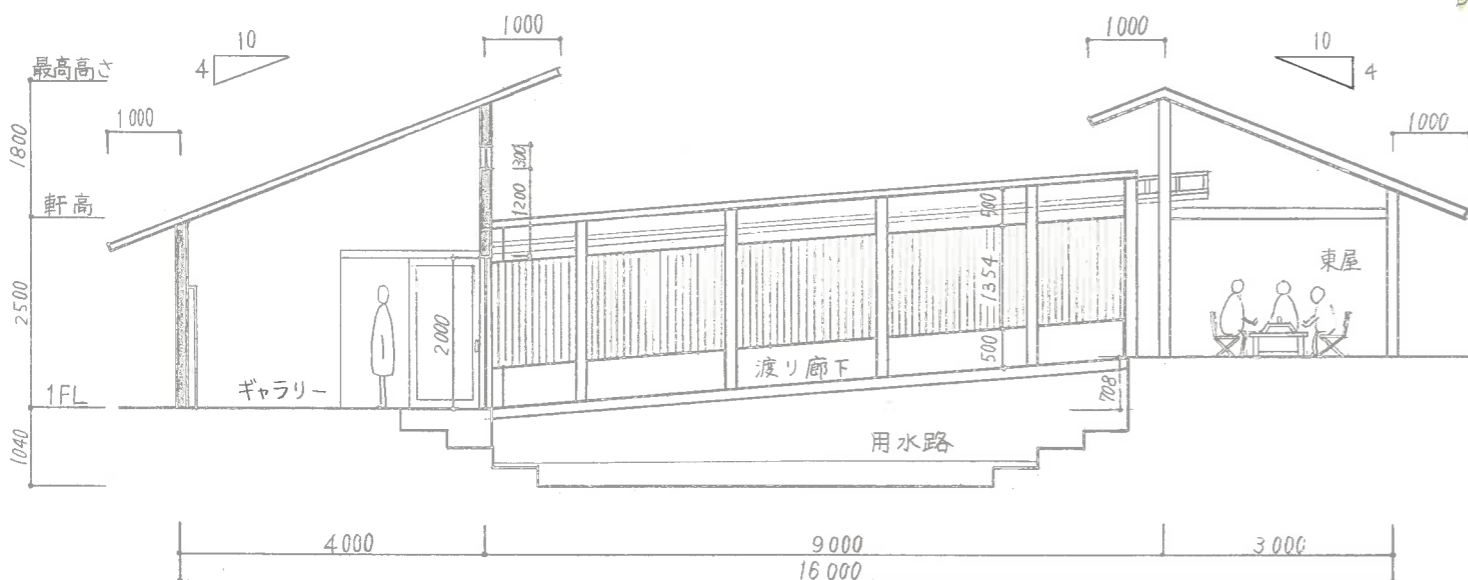
配置図兼屋根伏図 S = 1/200



ギャラリーからの帰路(西)



面積表	
建築面積	35.96㎡
延べ面積	35.96㎡
構造	
ギャラリー	RC造
東屋	S造



東立面図 S = 1/100

東断面図 S = 1/100



北からギャラリーを見た模型写真